

科目名 Course Name	ホテル業概論 Introduction to Hotel Business			ナンバリング No.	E1-005		
年次	1年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	伊藤 優子						
連絡方法	C-learning または研究室(2階)						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP2						
授業の概要と到達目標	<p>当該授業では、ホテルの基本的な生きた知識を身につけるとともに、その知識を学外ホテル研修へ展開させ、将来的なホテル業への展望を含めた学習を行う。尚、学外ホテル研修は必須とし、実際に生のホテルでの研修で気がついたことや感じたことをレポートにまとめ提出すること。</p> <p>①ホテル産業全体の基本理解を深め、ホテル産業の特性を説明する事が出来るようにする。 ②ホテル業界の課題などを学習し、ホテル業界の展望を説明することが出来るようにする。 ③ホテルの実地研修を行い、現場でしか学び得ない基本業務である、宿泊、料飲、宴会等各部門の組織及び業務の流れを学習し、実務に生かせることが出来るようにする。</p>						
授業の方法	授業はオリジナルのパワーポイントを使用して、毎回テーマを明確にし、経験談を交えながら授業を進行していく。ホテル現場見学を実施する。(東京都内の高級ホテルで実施予定)						
学習成果	L01	①将来的なホテルのあり方を描ける創造力を身につけることができる。 ②ホテル産業全体の特徴、特性等の基本理解を深め、ホスピタリティー産業としての考え方や行動規範を身につけることができる。 ③ホテルの仕事の流れを学び、ホテルの組織とその業務内容を理解し、職業選択の判断力を身につけることができる。					
	L02						
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	授業内で各自にフィードバックする。						
教科書/参考図書	適宜、プリントを配布する。						
履修上の留意点やルール等	3分の1以上欠席した場合は、理由の如何を問わず単位認定しない。 遅刻厳禁、私語は慎むこと。授業途中での無断退出禁止。携帯電話の使用・飲食は厳禁。 事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。 ※ホテル実地研修は全員参加になる。必要な費用はホテルまでの交通費(各自払い)、ホテルでの研修費(5,000 円程度)を予定。(詳細は授業内で決定次第連絡する。)						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	授業に積極的に参加しているか、ホテルでの研修で自ら、疑問を持った点について質問をし、疑問点を解決すること。	20			
レポート/作品	実地研修のホテルについてレポートをまとめる。	40			
発表					
小テスト					
試験	設問に対して的確に解答できているか評価する。	40			
その他					
合計		100			

回数		授業計画
1	授業内容	オリエンテーション(授業内容・知識確認)
	事前・事後学習	オリエンテーション内容の再確認
2	授業内容	ホテルのABCを学ぶ データで見る観光業・宿泊業
	事前・事後学習	データを読み返し、現状を復習
3	授業内容	ホテルのABCを学ぶ ホテルの語源
	事前・事後学習	ホテルの語源等、基本を復習
4	授業内容	宿泊業の歴史
	事前・事後学習	日本および海外における宿泊業の歴史を復習
5	授業内容	ホテルの種類
	事前・事後学習	ホテルの種類を復習
6	授業内容	ホテルの建築構造 経営特性
	事前・事後学習	ホテルの経営特性および建築構造を復習
7	授業内容	旅館の取り組み
	事前・事後学習	旅館の取り組みを復習
8	授業内容	ホテルに必要な基礎知識
	事前・事後学習	基礎知識を復習
9	授業内容	ホテルの組織と業務
	事前・事後学習	ホテルの組織と業務を復習
10	授業内容	ホテル実務(宿泊部門)
	事前・事後学習	宿泊部門の実務を復習
11	授業内容	ホテル実務(宴会業務)
	事前・事後学習	宴会部門の実務を復習
12	授業内容	ホテル実務(料飲・調理部門)
	事前・事後学習	料飲・調理部門の実務を復習
13	授業内容	学外研修①(ホテル実地研修①)
	事前・事後学習	研修予定先ホテルの調査、研究・予習
14	授業内容	学外研修(ホテル実地研修②)
	事前・事後学習	研修予定先ホテルの調査、研究・予習
15	授業内容	学外研修(ホテル実地研修③)
	事前・事後学習	研修予定先ホテルの調査、研究、総括